

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度第1回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和5年6月29日(木) 午後2時30分 開会 ・ 午後4時15分 閉会
開 催 場 所	入間市教育センター 第1・第2研究室
議 長 氏 名	会長 清水繁
出席委員(者)氏名	清水繁、大竹千里、野崎皓布、森谷秀一、石川京子、浅地由紀子、松田千代、青山衣津子、芳賀隆夫
欠席委員(者)氏名	塩澤榮一
説明者の職氏名	館長 平岡康子、副主幹 松橋茂子、副主幹 松下麗比奈、 西武分館長 本田潤一、金子分館長 内野千春、 藤沢分館長 原谷和夫
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 あいさつ 3 報告事項 (1) 令和4年度図書館利用状況について (2) 令和4年度社会教育施設アクションプランについて 4 協議事項 (1) 本館における午後8時以降の閲覧席開放について 5 その他 6 閉会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・次第 ・令和4年度図書館利用状況について (P1~P5) 資料1 ・令和4年度社会教育施設アクションプランについて (P6~P10) 資料2 ・本館における午後8時以降の閲覧席開放について (P11~P13) 資料3
事務局職員職氏名	部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、館長 平岡康子、副主幹 松橋茂子、副主幹 松下麗比奈、主任 佐藤敏章
会議録作成方法	要点筆記方式

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和4年度図書館利用状況について
 - (2) 令和4年度社会教育施設アクションプランについて
- 4 協議事項
 - (1) 本館における午後8時以降の閲覧席開放について
- 5 その他
 - (1) 図書館協議会連絡用メールアドレス登録について(依頼)
 - (2) 読書シール発行について(報告)
 - (3) 本館・分館の座席数のHP掲載について(報告)
 - (4) 館内での水分補給について(芳賀委員からの意見)
- 6 閉会

会議録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
松橋副主幹	<p>報告事項</p> <p>(1) 令和4年度図書館利用状況について (資料1に基づき説明)</p> <p>資料の1ページから5ページまでの「資料1」をご覧ください。 年度別入館者数・利用者数(貸出者数)・利用状況(貸出点数)について、5年度分の推移を示しています。</p> <p>利用状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に大きく減少したものの、令和3年度には平成30年度比で、入館者数は7割近くまで回復し、貸出者数及び貸出点数はそれぞれ8割程度回復しました。令和4年度は、前年度と比べると入館者数は増加しましたが、貸出者数・貸出点数については、1～2パーセント減少しています。</p> <p>また、総資料点数は増加をしており、内訳は表のとおりとなっております。視聴覚ライブラリー利用状況についても前年度より少しですが増加しております。</p>
石川委員	<p>グラフを見てわかるように、令和2年度の数値が低かったようですが、令和4年度は持ち直して良かったと思いました。</p> <p>移動図書館での貸出点数は、少なくなっているようですが、以前、移動図書館で、利用者の方が和気あいあいと本を選んでいる様子を拝見しました。移動図書館での役割というのは、私たちに優しさを与えてくれるものだと思います。</p>
松下副主幹	<p>(2) 令和4年度社会教育施設アクションプランについて (資料2に基づき説明)</p> <p>「社会教育施設アクションプラン」とは、教育委員会で発行する「入間市の教育」に掲げる年度単位の「目標」に対する「実績」を数値で評価するものです。</p> <p>つきましては、図書館における令和4年度の実績を総括評価したいと思います。</p> <p>6ページをご覧ください。「1-1 学習機会提供の充実」の項目ですが、電子図書館の活用として、1,994点の電子書籍を受入れしました。これは、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金も活用したのですが、今後も、電子書籍については、充実を図ってまいります。</p> <p>また、令和4年度は、まだコロナ禍も完全には収まっていない状況ではありましたが、全館で感染予防対策を講じながら、おはなし会を実施しました。各館の読み聞かせボランティアの皆様にも目標を大きく上回る延べ478人の方に参加していただくことができました。ご協力に感謝いたします。今後は、新たな会員を確保できるよう、養成講座等も実施してまいりたいと思います。</p> <p>7ページをご覧ください。「1-2 資料の収集・提供」の項目ですが、蔵書点数については、購入点数が目標より下回った資料もありますが、全体としては概ね順調に購入することができました。</p> <p>「外国語資料」については、外国人に対して、最近では、単に英語で書かれた</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>資料ではなく、やさしい日本語で書かれたものが効果的ということ由市でも推奨していますので、図書館でもそういった本の収集を始めています。今後とも、多文化サービスに対応した図書の収集に努めます。</p> <p>貸出点数については、システム更新に伴う休館や館内の設備故障などの影響があったことなどから、目標を下回る結果となりました。</p> <p>8ページをご覧ください。「1-3社会教育に関する情報の提供」の項目ですが、図書館だよりでは、従来の「図書館の情報」「本の紹介」の誌面のおたよりとは別に、毎月の事業をお知らせする「イベント版」の発行を始めました。図書館だよりが年4回発行なのに対し、イベント版は毎月の発行となっていますので、より新しい情報をお届けできると考えています。</p> <p>9ページをご覧ください。「2-1乳幼児の親を支援する事業の充実と小中学生の親を支援する事業の充実」の項目ですが、乳幼児の親を支援する事業として行っている「ブックスタート関連事業」については、コロナ禍のため、赤ちゃんのいる会場に向いて実施することはできませんでしたが、絵本を紹介するリーフレットを配布いたしました。</p> <p>小中学生の親を支援する事業では、コロナ禍の影響で中止していた事業を、感染対策を行った上で概ね実施することができました。</p> <p>小学2年生を対象とした「図書館利用教室」と小学3年生を対象とした「図書館施設見学」は、全校で実施することができ、図書館と本の楽しさを知っていただけたと思います。</p> <p>「あれこれブックガイド」の作製では、小学生向きは毎年発行しており昨年度で26回を数えましたが、新たに、中学生向きの発行を始めました。ここで紹介した本の貸出しは、中学生向きでは目標を下回りましたが、今後とも周知に努め、中学生にも、人生に寄り添い、勇気を与えてくれるような本を紹介していきたいと思います。</p> <p>「2-2学校・家庭・地域の連携の促進」の項目ですが、移動図書館車の学校への定期的な巡回では、高倉小、黒須小、新久小、東金子小、宮寺小、狭山小、藤沢北小、藤沢小の8つの小学校に巡回することができました。各学校30分から1時間程度の巡回時間ですが、貴重な貸出の場となっています。</p> <p>10ページをご覧ください。「3-1体験活動の機会提供」の項目ですが、「図書館を使った調べる学習コンクールの開催」では、前年度比102%と、多くの作品の応募がありました。この中では、全国コンクールで優良賞を受賞した作品もあり、今後とも、このような機会を提供していきたいと考えています。</p> <p>「4-1図書館施設の充実」の項目ですが、公衆無線LAN(Wi-fi)を全ての館に設置することができました。これは、市が、災害時における防災拠点の通信環境の確保と、市民の情報の取得や発信の利便性向上を図るために設置したもので、市内33カ所で利用することができます。</p> <p>また、全館のカウンターに、対話支援機器「コミュニケーション」を設置しました。コミュニケーションは、マイクが拾った、話す方の声を、スピーカーがクリアにし、聴き手に聞こえやすくするというユニバーサルデザインの機器で、これにより、特にコロナ禍でのアクリル板越しの利用者と図書館員との会話が聞き取りやすくなりました。</p> <p>システム更新に伴い、自動応答電話による情報提供は廃止となりましたが、</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>新たなサービスとして、LINE連携やホームページの刷新を図りました。 全体を総括しますと、令和2年度、3年度とコロナ禍で中止をせざるを得ない事業が多かったのですが、令和4年度には、感染対策を講じながら、様々な事業を再開することができました。 また、新たに始めた事業「あれこれブックガイド中学生版」や「図書館だよりイベント版」の発行、分館での「俳句ポスト設置」、システムに関してはLINE連携等もあり、これらの事業を充実させていきたいと思ひます。 以上で、社会教育施設アクションプランについての説明を終わらせていただきます。 なお、お手元にお配りしております、図書館協議会委員による「外部評価」をお願いいたします。記載方法は説明書きのとおりです。</p>
芳賀委員	6ページのダイア4市の「ダイア」はどういう意味でしょうか。
平岡館長	ダイアプラン（所沢・飯能・狭山・日高・入間）のことです。
浅見部長	<p>地図を思い浮かべていただければと思いますが、入間・狭山・所沢・飯能の4市の時にダイアの形になるというのを文字でダイアといたしました。現在は、日高市も入ったのでダイヤモンドの形にはなっていませんが、引き続きダイアプランとしております。</p>
芳賀委員	この中に青梅市は入っていないのですか。
平岡館長	ダイアとは別に相互利用の協定を結んでおります。
芳賀委員	<p>相互利用している4市と青梅市は休館日が一律月曜日です。システム上の制約等があるということですが、利用者の利便性の向上のためにも、休館日をずらしてほしいという意見が出ているということ、参考にとどめておいていただきたいと思ひます。</p>
平岡館長	休館日を変えることは、難しい状況ではありますが、埼玉県西部地域まちづくり協議会図書館部会等の会議において検討したいと思ひます。
野崎委員	<p>6ページに公民館との共催事業の開催の項目があります。地区センターとの行事の連携というのは、重要な内容です。 宮寺・二本木地区では、保護者の方たちの教育に対する動きが早くなっていると感じます。かつては中学を卒業してから高校進学と動き出していたのが、ある方は中高一貫校に行きたいという希望から、家売って出てしまいました。別の方は、小学校を卒業して転居しました。中学高校に行くためには、ここにはだめだからという発想です。 遠くの図書館へ行くこともできない低学年の子どもたちに、勉強（学び）の指導をしてくれるような場があったら、地域を離れていくということがこのように早くから始まるということがないと思ひます。 図書館として、親たちの動きに応じた低学年の学習活動を支援できるよう</p>

発 言 者	発 言 内 容
平岡館長	<p>な活動をしてほしいと思います。</p> <p>図書館としては、現在、移動図書館が狭山小に巡回しております。また、「調べる学習講座」を子どもたちの学びの支援として実施する予定です。</p>
野崎委員	<p>図書館の予算を、どの年齢層に重点的に配分するかということは、非常に難しい問題かと思えます。どちらかという今までは、高齢者へ重点的に比重を置いたほうが良いと思っていましたが、子育て支援や子どもたちに予算をまわしていくことが必要な時期がきたのかなと思えます。行政の方で広い視野で考えて欲しいと思えます。</p>
森谷委員	<p>6ページの公民館との共催についてですが、私は扇町屋地区センターの近くに住んでいます。近所の年配の方が図書館へ行くには遠いというので、地区センターの図書室で本が借りられることを案内しました。公民館（地区センター）の図書室でも、本が借りられることを何かの機会にアピールできたら良いと思えました。</p>
平岡館長	<p>地区センターの図書室においても本を借りることができることを、関係課と調整し周知してまいりたいと思えます。</p>
石川委員	<p>二本木地区センターでは、子育て支援センター「あいくる」が活動していますが、センター長が声をかけたところ、金子分館の職員が季節ごとに来てくださっています。3～4か月の赤ちゃんでも、抱っこして本を読むことは、早すぎるのではなく良いことなのだ、職員の方のお話を通じてお母さん方が実感しています。図書館には行けないけれど、たまたまセンターにきた方がお話を聞けるのはありがたいことと思っています。</p>
平岡館長	<p>市では出前講座を行っており、そのなかに図書館のメニューとして読み聞かせについてお話をする講座もごございます。この講座を通して、各団体や市民の方に本の素晴らしさを伝えているところです。また、分館においては、地元の施設と連携しおはなし会を実施しています。こういったこともPRしてまいりたいと思えます。</p>
森谷委員	<p>8ページの「広報いるま」についてですが、紙面がリニューアルしてから図書館の記事が載っておらず、残念に思いました。</p>
平岡館長	<p>「広報いるま」については、見やすい紙面を提供するというコンセプトで発行することになりました。図書館の記事を全て掲載することは難しい状況ですが、効果的な周知方法について検討してまいりたいと思えます。</p>
森谷委員	<p>9ページのおはなし会の開催について、本館では以前おはなし会のある日は入り口にのぼりを立てていましたが、最近はなくなってしまいました。開催していることがわかるので、あった方が良くは思いますが、なにか理由があって立てていないのですか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
松下副主幹	数年前からのぼりを立てていましたが、古くなり破れてしまい、新しいものもつくれずにいる状況です。
平岡館長	今申し上げたような状況ですが、他の周知方法を検討してまいります。
青山委員	<p>入間市駅や武蔵藤沢駅に返却ポストを設置して、そこに返却ができれば便利だと思います。</p> <p>本館は平日夜8時まで貸出をしていますが、間に合わずなかなか返す機会がありません。</p>
平岡館長	<p>駅に返却ポストを設置して欲しいというご要望をいただいたことは以前にもございますが、難しい状況です。本館の返却ポストには24時間返却していただけますので、ご利用いただければと思います。</p>
松橋副主幹	<p>協議事項</p> <p>(1) 本館における午後8時以降の閲覧席開放について (資料3にもとづき説明)</p> <p>夜間閲覧席開放は、休日・休館日を除いた毎週火曜日から金曜日までの午後8時から午後9時30分まで本館1階参考室の閲覧席を読書や学習等のために開放している事業でございます。この事業は平成25年4月1日より実施しております。なお、参考室の管理及び利用者対応は委託しており2名の警備業務員で行っております。</p> <p>まず入間市の置かれている現状についてご説明いたします。13ページのSDGs未来都市計画の概要をご覧ください。</p> <p>入間市は昨年度SDGsの達成に向け、優れたSDGsの取り組みを提案する自治体を国が選定する「SDGs未来都市」30都市に選ばれました。これを受けて、提案したSDGsの取り組みを進めるため、2022年から2024年までの3年間の計画を策定しました。これが「入間市SDGs未来都市計画」です。</p> <p>SDGs未来都市計画の概要はこの図のとおりとなります。経済・社会・環境のそれぞれの面から健康と幸せを実感できるまちの実現に向けて取り組んでいく計画です。</p> <p>次に、図書館本館の午後8時以降の閲覧席の利用状況をご説明させていただきます。</p> <p>11ページをご覧ください。令和2年度から4年度までの、1ヶ月ごとの平均閲覧席利用者数を数値に表したものです。</p> <p>午後8時までは、閲覧席以外も利用可能で、カウンター業務も通常通り行っている状況です。午後8時以降は、閲覧席のみの利用となります。午後8時を境に、閲覧席の利用数が減少していることが伺えます。</p> <p>次に、12ページをご覧ください。夜間開館における利用状況についてまとめました。午後5時以降の入館者は、午後5時30分をピークに減っていく傾向にあります。午後8時以降は、全閲覧席の20～30%程度しか利用されていない状況が続いています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
清水議長	<p>また、1日当たりの閲覧席の平均利用人数は、午後8時で11人、午後8時30分で10人、午後9時では8人と少ない状況です。</p> <p>費用面から考えますと、午後8時から午後9時30分の90分間、閲覧席を開放するために必要な費用は、空調運転の電気代を除いて、1日（1.5時間）当たり7,993円、年間では140万円ほどが発生しています。この中には、蛍光灯等の照明と空気清浄機の電力使用量と、2名体制の警備の業務委託の人員費も含まれます。燃料費の上昇が続いていることから、より費用が増えることが予想されます。なお、空調運転の電気代については、産業文化センター施設全体で管理しているため図書館部分のみの電気代は計算できないので、費用から除きました。</p> <p>そして、この閲覧席を開放している1時間30分の間の空調運転分を除く電気使用で、3.95kgのCO₂が排出されます。これは、日本の一世帯当たり1日平均（約7.9kg）の半分の量のCO₂を排出している計算になります。市のゼロ・カーボン・シティの実現へむけての取り組みにあります排出量低減の推進にはならない状況です。</p> <p>これらの状況から、午後8時以降の閲覧席開放について見直しの検討をお願いいたします。</p> <p>本日協議いただきましたご意見をもとに、事務局で検討し、次回ご提案させていただきます。</p> <p>私は普段西武分館を利用して、本館には詳しくありませんが、ときどき閲覧席を利用することもあります。閲覧席利用者は学生など自分で参考書等を持ってきて勉強している方、図書館資料を利用しているシニアの方の2つに分かれているようです。今日は12～13人程で利用は少なかったですが、多い時には8割ほど埋まっている日もありました。コロナの影響もあるので、8割の利用は多いと思います。</p> <p>8時以降、どのような利用者がいるのかわかりませんが、やはり自習に励むには、図書館は環境的にいい場所です。</p> <p>ただ、私は8時から9時半までの開館の継続は難しいのではないかと思います。</p> <p>費用対効果ということもありますので、夜間開館に係る費用を、例えば図書資料の充実、レファレンスサービスの充実、司書・有資格者・経験を積んだ職員の確保など、財源を他に回すことも一つの考えではないかと思います。</p>
浅地委員	<p>夜間の閲覧席にはどのような方がお見えになっているのですか。また、その時間帯は図書館内の本を閲覧できるのですか。</p>
平岡館長	<p>8時以降の利用者は、8割方学生です。閲覧席の周りの参考資料については閲覧できますが、一般の書架については立ち入りができない状況です。</p>
浅地委員	<p>学生は、自分で持ってきた教科書や参考書で勉強しているということですか。</p>
平岡館長	<p>そのような状況です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
芳賀委員	夜間の利用者はどんな人がいるのだろうと私も思いました。10月～12月の人数が多いのはなぜでしょうか。
平岡館長	推測ですが、試験前に学生が勉強に来ていると思われます。
芳賀委員	<p>1月のセンター試験に向けて勉強しているのかなと思います。もしそのようなことであれば、支援するべきではないでしょうか。</p> <p>むしろその時期は夜11時くらいまで伸ばしてもいいのではないのでしょうか。</p> <p>また「閲覧席」といいますが、学習席とか勉強室という名称は使えないのでしょうか。</p>
平岡館長	<p>「閲覧席」という名称は図書館の資料を使って調べ物をしていただくという意味合いから使っています。</p> <p>学習の支援も考えなくてはいけないところではありますが、現在は、10人程度の利用ですので、今後の在り方についてご協議をさせていただいたと思います。</p>
松田委員	<p>人数や経費、CO2排出の問題を出してくるというのは、要はもう廃止した方がいいという提案の仕方なのかと思います。</p> <p>また、利用者が何の目的で利用しているのか調査されたことがありますか。学習のためというのは、みなさんの推測ですよね。</p> <p>私はこの十数人という利用人数が多いのか少ないのかもわかりません。</p> <p>話を聞いていると、コストパフォーマンスの問題があるからやめたいと提案されたのかと思いますが、この議題を出した目的はなんですか。</p>
平岡館長	<p>今おっしゃられたように費用面・CO2の問題から閲覧席開放事業の在り方についてご意見をお聞きしたいと考えておりましたので、図書館協議会の協議事項として出させていただいたものです。</p> <p>午後8時以降残っている方を見ていると、参考書を持ってきている方が多いことを目視で確認しております。</p>
松田委員	学習支援という言葉も出ていますが、どういう形で開放するか、この時間まで利用している方にどういうニーズがあるのか、考え直した方が良くはないかと思います。
野崎委員	<p>これくらいのお金のことでこういうことを提案するということは、入間市を経営していくビジョンそのものを全く無視したやり方です。「香り豊かな緑の文化都市」を謳ってきて努力してやってきたのに、お金がないからといってどんどん削る。まず公民館が削られましたが、また次に何か削るでしょう。そういった行政ではますます魅力がなくなってしまいます。</p> <p>図書館そのものも、子どもたちにとって良くない環境になってゆく。先ほど話したように、競争に勝つために転出する人たちが出てきたのは情けない</p>

発 言 者	発 言 内 容
森谷委員	<p>ことです。図書館も館を運営していればいいという、そんな考えではとても対応できないと思います。それこそ本がなくてもいい、静かな空間、楽しい空間さえあれば人も集まってきます。そういうところをもう少し考えなくてはならないと思います。先日テレビで山梨県の甲府の図書館が紹介されていましたが、素晴らしかったです。全国で2番目の人気だそうです。こういう苦しい世の中でもやっているところもあります。このままではますます競争に負けてしまい、文化の中心地にはなり得ないと思います。お金はないと言いながらも、行政がもう少し夢を持って、新しい提案をしていただきたいです。</p> <p>資料3を見ていると17時半から利用する人は減っていますが、21時までの人が11人もいます。やはり勉強したい人が利用していると感じました。知り合いでも21時まで開いている施設を利用して勉強して資格を取った人がいました。勉強の機会を図書館が今まで与えていたのであれば、維持してサポートしてあげたいと思います。</p> <p>ただ、税金ですので費用対効果の面を考えなければいけませんので、利用頻度をみながら曜日や時期を絞った開館をしてもよいのではないかと思います。</p>
浅地委員	<p>この時間帯に図書館に来ている子どもたちは、塾にいけない子どもたちだと思いますので、応援したいという気持ちはあります。また、この時間帯に来られるというのは、本館に近い地区の子どもたちが主に利用しているのだと思います。税金のことも考えなければいけません、こういう少人数も応援したいと思います。</p>
平岡館長	<p>利用している方は、近隣の高校に通っている方が多く見られます。</p>
石川委員	<p>市長がいつも100年先の入間を創ると言っていますが、100年先よりも今を大事にひとつひとつ細かく深くまで考えて、どう動くかを市と市民と一体になってやらないと入間市はダメになる気がします。今回この提案を受けて、図書館もなのかと思いました。</p>
青山委員	<p>私の働いている施設でも電気代が3億位上がっており、民間企業でも本当に厳しい状況です。営業時間中の6時以降の時間にどれほどお客さんが来るかというのは常に議論されていますが、お客さんがいらっしゃるんで開けておくというしかない、同業他社が閉めないのでもうちも開けておくといった感じですが。朝10時から開店で、9時45分まで電気は点けず、店内は真っ暗です。そのようなことを民間企業でもやっています。</p> <p>学生は10月くらいから部活を引退して気合を入れて勉強し始めるかと思っています。やるかやめるかではなくて、時期を決めてやれば電気代が少なくなると思います。10月～1月くらいまでは開けるというのは、1つの案だと思います。市からも厳しく言われてこうした協議事項が出てくるのだと思いますが、可能性をいくつか考えて、次の協議会でもまた話し合った方がいいかと思いました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
野崎委員	<p>具体的な提案の中でセンター試験の時期は開館した方が良いという案はありだと思えます。私はセンター試験の受験率を調べてみましたが、入間市は少ないです。センター試験を必要としない学校がたくさんありますし、センター試験はかなり成績の良い子が受けます。センター試験を受けない、そこまで学力が届かない子がたくさんいます。</p> <p>私はそれを見てきたので、できるだけ早くから、子どもの願いがかなうように、小さいうちに競争できるような学力をつけさせてあげたいと思っているのですが、なかなかそこまでいきません。ですから、身近なところで小さい時の勉強習慣を身につけられるような環境ができればよいと考えています。そのなかで図書館が役に立てると思えるようなシステムができればよいと思えます。そういう思想で新しいまちづくりをやって欲しいと思えます。</p> <p>その他</p> <p>(1) 図書館協議会連絡用メールアドレス登録について (依頼)</p> <p>入間市では、SDGsの取り組みを推進しています。その一つとして、紙ベースでの通知等を極力無くし連絡方法を郵送からメール送信に変更したいと考えております。そこで、メールアドレスを登録いただきたくお願い申し上げます。</p> <p>(2) 読書シール発行について (報告)</p> <p>従来は返却時に読書シールの発行をしていましたが、6月から貸出時にもシールの発行をしています。</p> <p>(3) 本館・分館の座席数のHP掲載について (報告)</p> <p>従来はホームページには本館・分館の座席数が未掲載でしたが、ホームページを更新して座席数の掲載をしています。</p> <p>(4) 館内での水分補給について</p> <p>図書館のなかで6月から閲覧席で水分補給ができるようになったと聞いています。ありがとうございます。子どもたち、親御さんたちも喜んでいると思えます。ただ、あまり知られていないと思えますので、今後はしっかり周知活動をやっていたいただければと思えます。</p>
佐藤主任	
芳賀委員	
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
令和5年9月2日	
議長 の 署 名	